

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」鈴鹿校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		～	2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた、丁寧な個別支援	丁寧な個々の発達に合わせた療育を行う中で、更に個々の隠れていた課題をクリアにしていき、より充実した療育に繋がっています。また隠れていた課題、療育の状況、子育てに関する助言などの情報提供を含み保護者にフィードバックしていくことで「家族の困った」に寄り添い家族支援や信頼につなげています。	スポット的な小集団の活動も、引き続き行いながら多面的な視点でのアセスメントを行っていく。また様々なイベントを企画して事業所利用の楽しみを作っていく。
2	校舎職員の多様性	日本語の療育だけでなく、外国籍児童に対する母国語ポルトガル語での療育の実施。心理士、保育士、社会福祉士。また、外国籍職員においても自国での教育学や心理士の資格を有しており、個々の必要性に応じた療育内容や言語対応と多様に対応が可能となっております。	職員の専門性に磨きをかけるべく、個々に研修等に参加していく。また、個々以外にも事業所単位で勉強会やミーティングを開き、互いに刺激し高め合う環境を整えていく。
3	立地環境と送迎対応	保育園や学校への送迎対応を行っています。施設は元コンビニの建物であった為、駐車スペースが十分に確保されており、送迎される保護者様が余裕をもって駐車していただけます。	スムーズな送迎になるようにカリキュラムの調整を行う。また、送迎を含み事業所の利用に際し、あんしんあんげんに利用できるように環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援ゆえの療育時間の短さ	個々の発達に応じた個別支援であり、子どもたちの集中できる時間を考慮すると1時間弱と、どうしても短時間の集中療育となっています。昨年度は、相談事業所への営業の成果もあり、見学希望者が増えましたが、見学から実際の利用へ移行できるケースが増えていない状況です。	近年、両親ともに終日就労の保護者も多く、長時間の療育を希望される家庭が多い状況ですが、長時間のグループ療育では個別の課題が見えてこない場合も多い。集団が苦手な児童だけでなく、集団療育を利用しながらも個別課題にしっかりと対応できる事業所としてアピールし、併用利用での希望者を増やしていく。
2	事業所認知度の低さ	事業所母体は、大きく全国展開になっているが地域での認知度が低い。相談事業所の業務を併設していない為、サービス利用の依頼を受ける状況である。	昨年度より、営業活動を行っている。引き続き、地域の療育センターなど相談事業所への営業を行っていきながら、関係機関との連携や信頼を構築していく。送迎や訪問先の保育園や学校との関係性をさらに深め信頼できる事業所として認知度を上げていく。
3	事業所施設の老朽化	元コンビニの古い時期の建物で、床などはバリアフリーになっているが滑りやすく冬は冷たい状況。トイレ設備は、段差あり和式トイレ。事業所施設が老朽化して雨漏りなどの状況を修理しながら利用しています。	賃貸借物件の為、工事等は難しい。トイレ設備などは、対応できる範囲で使いやすい様に工夫しています。床の滑りや冷たさは、上靴の必要があれば自由に利用してよいことを周知していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					2026 年 2 月 14 日	
利用児童数		26					回収数	
							24	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24					法令を遵守したスペースを確保しています。完全な個室は1室のみですが、他教室工夫しながら療育を提供しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1	1	1	・もっと(職員が)欲しい。	人員は法令遵守しております。16時前後の利用希望者が集中して、ご希望通りに利用できない場合もございますが、ご理解の程よろしくお願いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24					平屋構造でホールの面した教室は分かりやすく、また床はバリアフリーとなっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			1		支援内容とあっております。外国籍の保護者の方への公表を工夫していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		1	・たぶん。	必要な項目を適切に設定しております。計画についてはポルトガル語でも追記を行い理解できるように丁寧に説明を行っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2	1	1		計画に沿って行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2		1		好きな活動を取り組みながら固定化しないように工夫していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	5	7		個人情報の観点から、施設の開放や地域交流は行っておりません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22		2			計画作成時には、必ず説明を行っております。今後も翻訳器を利用しながら理解できるように丁寧に行っていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3	3	3	・もっと(家族)会議をしてほしい。	フィードバック時に情報提供や提案を行っております。昨年度は日本語での研修を企画しました。また、外国籍保護者向けの交流会と合わせ勉強会になるよう企画していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	1				利用時の以外にも、LINEやFacebookにて保護者様とこまめに連絡を取り、体調の把握など共通理解できております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23			1		フィードバック時には、療育の様子を丁寧に伝え助言などを行っています。年に1回は聞き取りの面談を行っております
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3	4	3		昨年1回交流会を実施。多くの保護者様が働いて忙しく曜日や時間帯の調整が難しい状況ですが、交流会を企画していきます。要望あれば兄弟の交流も検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21		1	2		希望があれば事業所内相談で十分に時間を取って対応していきます。相談対応について再度周知していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	1				行事予定や活動の様子などブログやFacebookにて発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			1		個人情報は鍵付きの書庫に管理され、また、端末データーもパスワード対応しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3	2	2	・マニュアルは受け取っていません。	保護者へのマニュアル配布は行っておりません。各マニュアルは策定され訓練も行っております。保護者への周知に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	5	2	2	・訓練の情報は知りません。 ・知る方法がありません。	安全計画に基づき避難訓練などを、定期的に行っております。保護者への周知に努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	3	1	2		安全計画に基づき避難訓練などを、定期的に行っております。保護者への周知に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3			・今まで事故に合っておりません。 ・私の子どもには(事故)起らなかった。	緊急時の対応方法については、契約時にすべての保護者様に説明させて頂いております。再度、周知に努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1				楽しく利用できるように工夫したり、満足のいく支援になるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				・障がい者向けの運動など、活動が行えるような広いスペースが、欲しいです。	事業所環境は変えられませんが、教室内で出来る機能訓練など工夫していきます。また、公園等外での運動遊びも検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」鈴鹿校		2026 年 2 月 14 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○4	1	法令を遵守したスペースの確保をしています。個別対応においても十分なスペースになっております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○4	1	法令を遵守した人員を確保しています。	外国籍児童の比率が多くなり、日本語対応職員が少ない。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○3	1	旧式のトイレがバリアフリーではありませんが、職員が付き添いフォローしています。トイレ・部屋番号・非常口の表示は明確です。	元コンビニの建物で、バリアフリーであるが、床が冷たく滑りやすい。(上靴の利用は自由しています。)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		消毒や清掃は、始業前に毎日行っております。個別の教室空間とホールが広く運動遊びが可能です。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の教室は5室あり、年齢に応じた机や椅子が配置されています。	完全個室は1室のみ。音への感覚過敏な児童の利用が重ならないように調整が必要。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○4		外国籍職員とのコミュニケーションが難しいが、細目にミーティングを行い業務改善に向けた意識づけを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へ評価表の記入をお願いし、業務改善につなげています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		外国籍職員とのコミュニケーションが難しいが、細目にミーティングを行い業務改善に向けた意識づけを行っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○3		現在は利用者・社内の2者評価を行っております。	第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて社内で実施を検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に本部主催の研修があり受講しています。また、事業所単位の(研修)勉強会など行っています。	ポルトガル語での研修機会が少ない。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムについて適切な方法で公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを行い、本人や家族状況を確認して計画を立てております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別計画の担当者会議にて検討が行われています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿って支援を行っております。日頃から職員間で課題について話し合い情報を共有しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一されたアセスメントシートを使用して確認しております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な項目を適切に設定しております。計画について保護者さまに伝わりやすくなるように、より具体的に内容を記載しております。母国語での文章も追記しています。	
適切な支援	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○4	1	日頃から活動内容について提案や話し合いを行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		効果的に楽しく取り組めるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○4		現在小集団のカリキュラムは有りませんが、同時間の利用者に小集団活動やイベント時の集団活動が行われています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○4	1	その日の利用者の予定を確認し、役割分担を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○3	1	その日支援を担当した職員以外でも気になる子どもの様子や気付いたことについて意見交換、情報を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○4		支援記録は徹底して行っております。記録することで課題に気づき改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回、モニタリングを行い計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		活動を組み合わせ、生きる力や自立に向けた取り組みを行うことを見据えて活動内容を考えています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援の活動の中で、自分で選んだり、決めたり出来る様に工夫しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○4		児発管を基本に、担当指導員が参加できる時は参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○3	1	情報の共有など関係機関との連携に努めております。	職員への周知を徹底します。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎対象の学校もあり、情報の共有や必要時連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		情報の共有など関係機関との連携に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○2		現在まで、移行のケースがありませんが、今後の対象者には対応していきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○3		常に連携を取っています。助言を求め相談する時もあります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	個人情報の保護の観点から、関係機関や関係者以外にはオープンにはしていません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	地域の自立支援協議会の委員については身体障がい者施設がメインとなっています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバック時に時間を設けて話をしています。送迎対象者にはLINEやFacebookにて報告、情報を共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○2	1	昨年度は、保護者の研修、父母会を行いましたので、引き続き企画調整していきます。	仕事で忙しい保護者が多く、日程の調整が難しい状況です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○4		契約時に丁寧に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者と子どもそれぞれの意向に寄り添いながらも子ども側の代弁者として確認し進めていく。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者様に計画について丁寧に説明し同意を得ています。母国語での文章を追記しています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		フィードバック時に聞き取りや助言を行う以外にも、要望があれば面談時間を設け対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○3		昨年度の父母会と同様に企画していきます。	定期的に開催したいが、仕事で忙しい保護者が多く、日程の調整が難しい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○4		苦情だけでなく相談や要望など、速やかに職員間で検討し適切に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEやFacebookにて活動を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の関連書類は鍵付きの書庫に保管しています。また、端末はパスワード設定にて対応しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○4		利用者やご家族さまのご国語に応じて適切に意思疎通、情報伝達を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個人情報保護の観点から関係機関、関係者以外にオープンにしません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○4		マニュアルを作成して、研修を行っています。	職員への周知を徹底します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○3		BCPを作成し、その内容に基づいた訓練を行っています。	職員への周知を徹底します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○4		契約時にフェイスシートなどに記入、聞き取りなどで状況を把握する様にしています。	職員への周知を徹底します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○4		通常支援では食事・おやつ提供は有りません。契約時の聞き取り以外にイベントで提供がある時は再度確認しています。	職員への周知を徹底します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○3		安全計画を策して計画に沿った訓練を行っています。危険箇所なども随時点検しています。	職員への周知を徹底します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○2		訓練の様子などブログやFacebookにて上げて周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった時は報告書を作成し、回覧して職員間で共有し再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを作成して、研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束する場合は保護者様に十分説明して個別支援計画に記載します。契約時にも重要事項説明書を使って説明しています。	